

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床支援技術学		講義	野村 大樹	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
内視鏡業務また心臓カテーテル業務において、臨床工学技士の仕事の占める割合は年々増えてきている。この2つの業務について、原理、使用デバイス、業務の流れについて解説する。また前期の治療機器学で扱ったレーザ手術装置と内視鏡についての基礎原理である波動、光波について1，2回目の授業で話す予定である。				
授業の到達目標				
内視鏡、心臓カテーテル業務について臨床実習など臨床現場に入った時に業務内容が理解できるようになる事を目標とする。				
授業計画				
回	内容			
1	波動の基礎と波の性質			
2	光波の性質			
3	内視鏡の歴史			
4	内視鏡の構造、カプセル内視鏡			
5	硬性鏡、腹腔鏡下手術			
6	3回から5回までの小テスト			
7	心臓カテーテルの役割			
8	アンギオ室の役割と構造			
9	冠動脈造影（冠動脈の構造と分類）			
10	冠動脈造影（カテーテル、35ワイヤー、造影剤）			
11	経皮的冠動脈形成術（カテーテル、14ワイヤー、ステント、OVUS、OCT）			
12	7回から11回までの小テスト			
13	カテーテルアブレーションの役割			
14	使用デバイスと手術方法			
15	手術ロボット、13回～14回までの小テスト			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	60%	各章が終了ごとに小テストを実施する。		
レポート・課題				
小テスト	40%			
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				